

令和6年8月22日

保護者様

春日井市立岩成台小学校

校長 原田 宗敏

学校評価中間アンケートの結果について(お知らせ)

残暑の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に、格別なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、7月初旬に本校教育活動を振り返る目的で、Home&Schoolで学校評価中間アンケートを実施いたしましたところ、のべ164名の皆様より回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。結果については、裏面以降にお示しした通りです。

中間アンケートの結果をもとに、1学期の教育活動について振り返り、2学期以降の教育活動に生かしていきたいと考えております。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

<アンケート結果>

児童対象のアンケートにおいて、15の質問のうち11の質問に対し、9割以上の児童が『そう思う』または『まあそう思う』と肯定的な回答をしています。最も高い肯定率を得た質問は「友だちと仲良くしていますか」で、97.2%でした。

保護者対象のアンケートでも18の質問の中で10の質問に対し、9割を超える保護者から肯定的な回答を得ています。最も肯定的な回答を得た質問は「食物アレルギー対応や施設安全管理、緊急時の対応など、健康・安全を第一として取り組んでいる」で、97.6%でした。

タブレット端末の活用に関する児童対象のアンケートでは、「タブレットを使った学習は楽しいですか」という質問に対して96.2%の肯定的な回答がありました。しかし、「タブレットを使うと、使わないときよりも学習がよくわかりますか」という質問には83.1%が肯定的に回答し、「タブレットを使った学習は楽しいですか」より13.1ポイント低い結果でした。また、保護者向けの質問「本校は、タブレット端末を効果的に活用し、工夫して授業を行っているか」に対する肯定的な回答は79.4%でした。これらの結果から、タブレット端末の効果的な活用が課題であることが明確となりました。今後は、更なるタブレット端末の効果的な活用法を模索していく必要があると考えます。

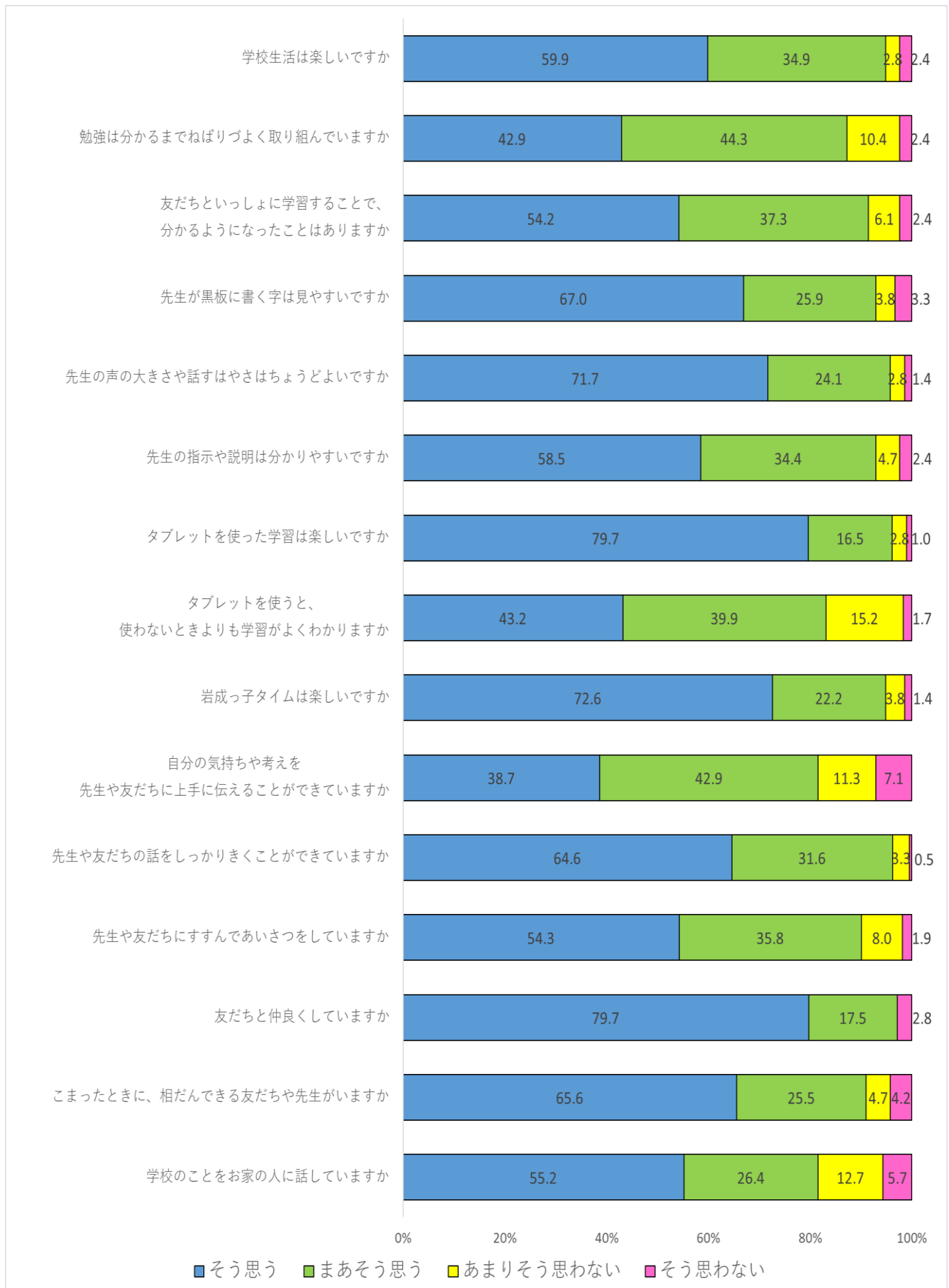
児童対象のコミュニケーションスキルに関するアンケートでは、「先生や友だちの話をしっかり聴くことができるか」という質問に対し96.2%が肯定的な回答を示しています。一方で、「自分の気持ちや考えを先生や友だちに上手に伝えることができますか」という質問には81.6%が肯定的な回答であり、話す力が聴く力に比べ14.6ポイント低い結果となっています。保護者に対する同様の質問においても、話す力についての肯定的な回答は62.2%に留まっています。聴く力同様、話す力を向上させるためには、岩成っ子タイムだけでなく、授業内での取組も重要だと考えます。授業に話し合い活動やプレゼンテーションの時間を今まで以上に設け、児童の話す技術を育む場を提供していきたいと考えています。

「1学期を振り返り、児童の健やかな成長や満足度向上に努めていること」に関するアンケートでは、「自己肯定感・自己有用感を育む活動(岩成っ子タイム、なかよし班活動など)」が最も高い評価を得ました。他の項目でも、同様の評価が得られるよう努めてまいります。

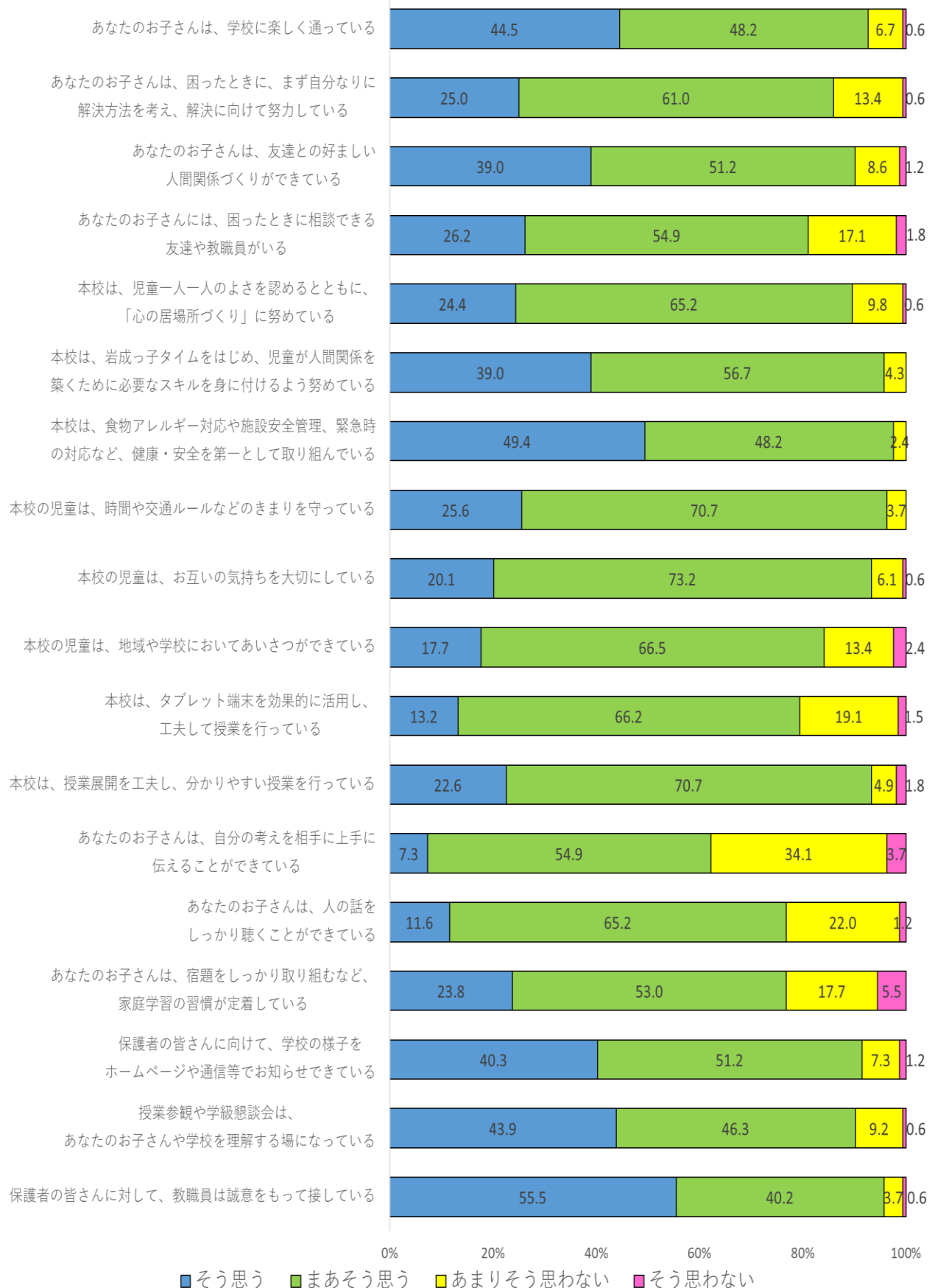
「1学期を振り返り、改善が必要だと感じること」に関するアンケートでは「児童一人一人を大切に学級づくり」が最も多い結果となっています。特に低学年の保護者においては、「基本的な生活習慣の確立(あいさつ、正しい言葉遣いなど)」が最も多く挙げられています。また、全学年で「一人一台端末を有効に活用した学習指導」の需要が高いことも分かりました。

これらの結果を受け、2学期以降の教育活動に生かしていきます。

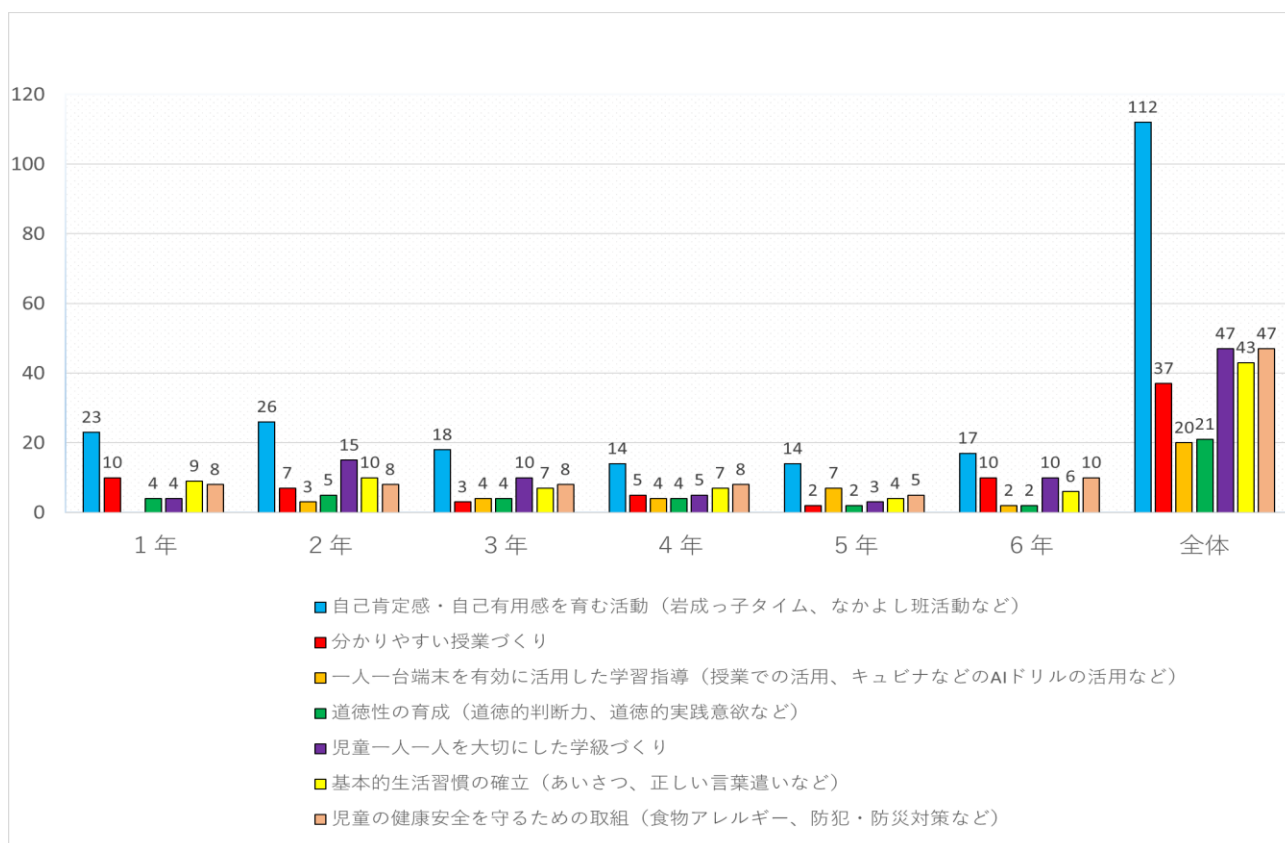
R 6 学校評価中間アンケート（児童212名回答）



R6 学校評価中間アンケート（保護者164名回答）



1学期を振り返り、本校の児童の健やかな成長や満足度向上のために頑張っていると感じること



1学期を振り返り、本校の児童の健やかな成長や満足度向上のために努力や改善が必要だと感じること

